

2. 全館共通項目チェックリスト

自然の博物館

評価基準

完了または順調に進捗していて問題がない状態	A
着手状態乃至課題が残されている状態	B
未着手状態	C

項目	チェック内容	評価(A~C)	備考
資料の収集	① 資料の収集方針、収集計画を策定しているか	A	資料収集等規程、計画を策定
	② 収集方針、収集計画に基づき資料収集を行っているか	A	収集点数 5,692点
	③ 特色あるコレクションの形成に努めているか	A	埼玉県の自然史資料を中心としたコレクション
	④ 有形資料に限らず、映像資料や情報資料等も積極的に収集しているか	A	図書資料等
	⑤ 収集した資料についての調査を実施し、調書を作成しているか	A	資料調書の作成
	⑥ 客観的な評価を経て購入・受け入れをしているか	A	資料評価会議を経て購入・受入
	⑦ 規定の資料台帳を整備し、資料を登録しているか	A	電子化38 ファイル
	⑧ 規定の収集資料ラベルを設け、資料に添付しているか	A	標本化と同時
	⑨ 資料の基本データ記録を作成し管理しているか	A	受入時作成
	⑩ 収集時に資料の殺虫処理・クリーニングを適切に行っているか	A	資料の状態に応じて対応
資料の保存管理	① 収蔵・展示資料の保存管理に関する要項が整備されているか	A	収蔵資料管理要項の制定
	② 収蔵・展示資料の保存管理に関する要項を職員に周知し、それに基づいた資料の保存管理を実施しているか	A	管理要項を職員に配布
	③ IPMの考えに基づいた資料の保存管理について、最新情報の収集や研修を行っているか	A	資料保存WG 文化財保護財団
	④ 資料特性に即した適切な収蔵施設を整備しているか	A	天然記念物化石 収蔵ケース 資料 種別4収蔵庫
	⑤ 収集資料の清掃・修理等を適切に行っているか	A	毎週水曜日 実施
	⑥ 有害生物・室内ガス・光種等のモニタリングを実施し、その結果に基づき適切な対処をしているか	A	月1回の集約
	⑦ 資料の殺虫殺菌処理を適切に行っているか	A	9月に燻蒸 を実施
	⑧ 温湿度の日常的な管理・記録化等を行っているか	A	データロガーに より30分間隔
	⑨ 光量の管理を適切に行っているか	A	美術館用紫外線 減ライトの使用
	⑩ 資料の所在確認作業を定期的に行っているか	A	R2年から月2 回実施
	⑪ 資料の劣化状況を定期的に確認しているか	A	週1回IPM (水曜日)
	⑫ 資料の修復や保存処理等の措置を計画的かつ必要に応じて行っているか	A	必要に応じ 実施
	⑬ 借用資料・寄託資料の更新手続きは適正に行われているか	A	借用/寄託とも 要項に基づき 実施

項目	チェック内容		評価(A～C)	備考
資料の保存管理	⑭	資料のデータベースを整備するとともに、情報を適宜更新しているか	A	分野別38ファイル
	⑮	収蔵庫の入退室管理簿を整備するとともに、適正に管理しているか	A	管理要項により運営
	⑯	収蔵資料の出納簿を整備するとともに、適正に管理しているか	A	管理要項により運営
	⑰	収蔵庫の鍵を適正に管理しているか	A	管理要項により運営
資料の活用	①	収蔵資料の活用に関して規程・手続きを整備しているか	A	貸出基準の制定
	②	収蔵資料の活用に関する手続き等を公開しているか	A	当館HPで公開
	③	収蔵資料を展示に活用しているか	A	活用点数 1,817
	④	収蔵資料の館外貸し出しに適切に対応しているか	A	貸出点数 632
	⑤	収蔵資料の特別利用(熟覧・撮影等・原板利用等)に適切に対応しているか	A	利用点数 1,836
	⑥	資料の基礎情報・解説付目録(紙・電子)を適宜作成・更新・公開しているか	A	バグ、項目等の修正
	⑦	収蔵資料をホームページ等で紹介・更新しているか	A	webベスト10点公開
常設展示	①	資料の展示環境を適切に管理しているか	A	朝夕の見回り 監視員2名
	②	展示関連のサイン・パネル等がわかりやすいか	A	自作設置、背面照明の利用
	③	展示室内に監視員や監視カメラ等を配置しているか	A	監視員2名
	④	展示情報を適宜修正・更新しているか	A	自作で実施
	⑤	展示設備等を適宜点検しているか	A	毎日開閉館時点検
	⑥	展示ガイド等を作成しているか	A	展示解説書他
	⑦	解説リーフレット等を作成しているか	A	子供向け3種 館内印刷4種 岩畳紹介5種
	⑧	展示解説等を適宜実施しているか	B	コロナで休止中。 代替として岩畳解説実施あり。
	⑨	観覧者アンケートを実施し、満足度等を測定しているか	A	月1回集計
	⑩	アンケート結果に基づいた展示改善を実施しているか	A	VRでの自然観察 お客様の声ボード
	⑪	県民に対し展示情報を適宜発信しているか	A	HP、ツイッター、ポスター、チラシ
学習支援事業	①	事業情報を利用者に広く発信しているか	A	ミュージアムカレンダー、HP、チラシ、ポスターでの広報
	②	多様な媒体による参加申し込み方法を用意しているか	A	ハガキと電子申請
	③	多様な参加者を想定したプログラムを用意しているか	A	親子向け、一般向け、中級者向け
	④	参加者に対しサポート体制を整備しているか	A	ボランティアによる補助・支援

項目	チェック内容	評価(A～C)	備考
学習支援事業	⑤ 事業実施にあたり参加者の安全に配慮しているか	A	下見による危険個所のチェック
	⑥ 参加者を対象としたアンケートを実施し、満足度等を測定しているか	A	事業ごとにアンケート実施
	⑦ アンケート結果に基づいてプログラムの開発・改善を行っているか	A	事業内容や実施時期等に反映
	⑧ 来館者用の図書・情報コーナーを設けているか	B	ディスカバーコーナー休止中。代替展示あり。
	⑨ 学芸員実習やインターンシップの学生を受け入れているか	A	学芸員実習9名受入
県民との連携・協働	① ボランティア制度を導入しているか	A	20名登録
	② ボランティアの活動に関する規程が整備され、適切に運用されているか	A	受入要項
	③ ボランティアの募集・認定の規程が整備され、適切に運用されているか	A	受入要項
	④ ボランティアの研修システムが確立され、適切に実施されているか	A	研修会1回実施
	⑤ ボランティアの活動成果が公開されているか	A	館報で公開
	⑥ 友の会、NPO等が館事業に参加する機会を設けているか	A	共催での事業実施
	⑦ 地域社会で実施されるイベント等に館として積極的に関わっているか	A	長瀬町観光協会等との連携
調査研究活動	① 調査研究テーマを定めているか	A	館/個人でテーマ設定
	② 調査研究のための予算措置等に努力しているか	A	補助金の申請など
	③ 調査研究活動を遂行するために必要な専門研修に参加し、館内に情報提供しているか	B	コロナ対応で研修等が中止
	④ 収集している資料に関連する専門分野についての調査研究に取り組んでいるか	A	外部専門家への同定依頼等
	⑤ 資料の保存・管理、展示・教育普及、博物館経営等の博物館学分野での調査研究に取り組んでいるか	A	博学連携
	⑥ 地域貢献の視点から、館の所在する周辺地域や地域資料についての調査研究に取り組んでいるか	A	入間川流域自然遺産調査
	⑦ 学芸員個々の専門分野についての調査研究に取り組んでいるか	A	調査研究調書の作成
	⑧ 他館や他機関との間で共同研究等を行っているか	A	入間川流域自然遺産調査
	⑨ 調査研究の経過や成果を、さまざまな媒体・方法(著作物、展示、講演、研究発表等)で公開しているか	A	研究発表会や研究報告
	⑩ 調査研究の成果を、社会貢献の視点から国、市町村、地域社会等にさまざまな形で還元しているか	A	各種委員、講座等での還元
施設・アメニティー	① 施設の維持・改善についての計画を策定しているか	A	予算と優先順位により検討
	② 展示室、収蔵庫などで耐震対策を行っているか	A	展示物の固定、収蔵庫の耐震装置
	③ 危機管理マニュアルを整備しているか	A	危機管理マニュアルの制定
	④ 防災・救急訓練等を定期的に行っているか	A	3月消防訓練実施
	⑤ 休憩コーナー、授乳コーナー、喫茶コーナー等を設置または状況により対応しているか	A	休憩場所、授乳室
	⑥ レンタル用の車椅子、ベビーカーは整備されているか	A	車いす・ベビーカー各1台

項目	チェック内容	評価(A～C)	備考	
施設・アメニティー	⑦	バリアフリー化など、改善必要箇所の把握のため自己点検を行っているか	A	点検の実施
	⑧	一般駐車場と障害者用駐車場を区別しているか	A	障害者用2台
	⑨	手すり、点字ブロック、音声ガイダンスなどユニバーサルデザイン化への取り組みがなされているか	A	触れる剥製、点字解説、点字ブロック
	⑩	利用情報や館内サインはわかりやすく表示されているか	A	自作等に対応
	⑪	館内サインの英文標記など国際化への対応はとられているか	A	対応済
	⑫	利用実態に応じて開館時間を設定しているか	A	例年7,8月は無休、5時まで開館
	⑬	便益施設として利用者数に見合った施設・設備を確保しているか、または状況に応じて対応しているか	A	大型バス駐車場不足分は近隣駐車場を紹介
施設の利活	①	施設利用のための要項、マニュアルを策定しているか	A	要項の制定
	②	施設利用のための情報を公開しているか	A	HP掲載
	③	施設を一般の利用に提供しているか	A	講堂、会議室を貸与
	④	施設を学校団体等の利用に提供しているか	A	学校団体利用実施
	⑤	施設が地域の賑わい創造や活性化に活用されているか	A	ジオパーク関連の連携
	⑥	地域や他施設・機関・学校等との連携を図っているか	A	秩父地域博物館、秩父鉄道、長瀬町観光協会等と連携